

真っ白な白良浜を眺めることのできるシララテラス。宿泊者以外も利用できる。



# ワーケーションの聖地。

## 和歌山で見つける

### 新しい生き方とは

今やワーケーションの聖地と呼ばれる白浜町。そこにはいくつかの理由がある。もっとも重要なのは、空の玄関である「南紀白浜空港」の存在。そして国内有数のWiFiスポット数などIT環境に優れている点。さらに本州屈指の海水浴場・白良浜や、日本三古湯に数えられる南紀白浜温泉。他にも世界遺産の熊野古道や国内最多数のジャイアントパンダ飼育数を誇るアドベンチャーワールドなどの観光地としての魅力が高いことも挙げられる。

「羽田空港から約1時間というフライト。そして空港から車で10分程度で出会う、白良浜の真っ青な空と海。初めて見たその美しい景色と感動は今も忘れられません」と語るのは株式会社Yeeyの代表取締役島田由香さん。「地域にはスペースがありますが東京にはない。他にも知識や労働力など、地域にあるものないもの」と、東京に



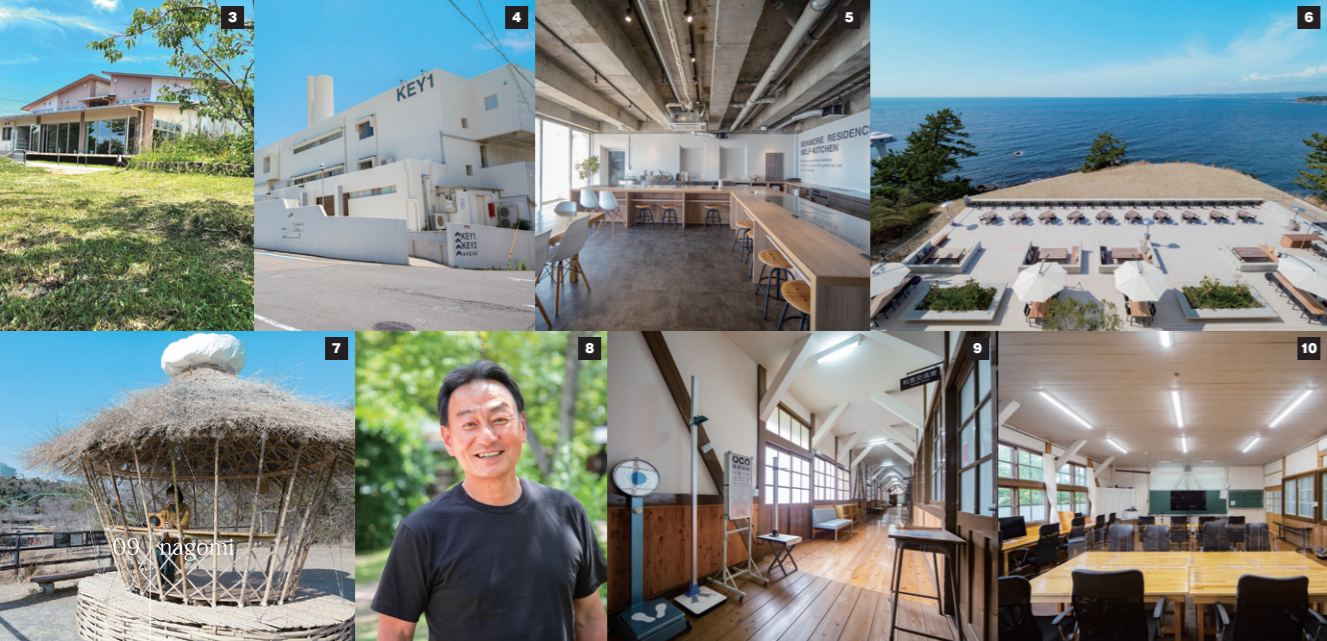
和歌山県ワーケーション関連サイトはこちらから

あるものないものは交換できるんですね。ワーケーションといった新しいカタチのコミュニケーションが、地域課題の解決に役立つ可能性もあるという。

小学校をリノベーションした田辺市の秋津野ガルテンも注目のワーケーション施設だ。「グリーンツーリズムの拠点として誕生しましたが、ここには外国人も含め多くの方にお越しいただきました」と同施設代表取締役専務の柏木満さん。コロナ禍で働き方が見直され、ワーケーション等に対応するために、会議室に机やモニターを設置し、テレワーク室に改装した。「平日はテレワーク、休日は農業体験といった新たな旅のスタイルとして研修ニーズをお持ちの企業に提案しています」。

自然豊かなワーケーションで集中力やヒラメキが生まれる。そんな新しい働き方を和歌山でなら見つけられる。

③ 平草原にある白浜町第2ITビジネスオフィス。④ シーモアレジデンスは2棟あわせて50部屋あり、施設全体を借り上げすることも可能です。とホテルシーモアの松平予約センター長。⑤ 宿泊者が利用できるキッチン。食器や調味料も準備され、食材さえ持ち込めばコストセーブした滞在ができる。/シーモアレジデンス ⑥ 宿泊者だけでなく誰もが利用できるホテルシーモアの「ミカンテラス」。この絶景を前にしながら仕事をしていると、働き方を変えたいくなる。/ホテルシーモア ⑦ パンダ飼育数日本一のアドベンチャーワールドにあるワーケーション施設。⑧ 県や市、国の補助を受けながら、周辺の農家や住民の皆様にも出資してもらいました」と秋津野ガルテンの柏木さん。⑨ 昔の小学校のイメージが色濃く残されている室内。/秋津野ガルテン⑩ リモート会議を行えるように改装されたテレワーク室。窓の外には緑豊かな風景。レンタサイクルで足を伸ばせばさらに豊かな自然に触れ合うことができる。/秋津野ガルテン



平成20年11月にオープンした秋津野ガルテン。廃校になり取り壊し予定だった上秋津小学校を住民パワーで買取り、リノベーション。農家レストランや宿泊施設も併設する。